

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネス・ニュースに加え、民間セクター及び関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネス・トレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX（旧 twitter）のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー及び拡散いただけますと幸いです。

当代表部ウェブサイト：https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

同 Xアカウント：https://x.com/mission_japan

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】オランダのコンソーシアムが酪農サービス・研修センターを開設へ

オランダの農業機械サプライヤーAnte BV が率いる酪農関連企業コンソーシアムは、エチオピアの国内酪農生産能力を強化するため、商業サービスおよび研修施設を設立する計画を発表した。この取り組みは、オランダ政府の支援の下、新興の畜産部門への農業技術や専門知識の導入に焦点を当てたプログラム。

<https://borkena.com/ethiopia-dutch-consortium-to-launch-dairy-service-and-training-center/>

(2)【ケニア】DP ワールド、モンバサに工業団地建設

UAE の物流大手 DP ワールド社は、ケニアの地域貿易・物流玄関口としての地位を強化し、東アフリカにおける近代的な産業・物流インフラへの高まる需要に対応するため、モンバサ工業団地特別経済区を開発する。モンバサ港から20km 未満の場所に位置しており、222ヘクタールにも及ぶこの工業団地は段階的に開発され、国際市場へ効率的にアクセスできるようになる。

<https://www.engineeringnews.co.za/article/dp-world-to-build-222-ha-mombasa-industrial-park-sez-2026-08-04>

(3)【ケニア】ダンゴテ社のラム製油所の建設が 10 月に開始へ

ナイジェリアのコングロマリットであるダンゴテ社は、ケニア・ラムに建設が計画されている製油所の建設が10月に開始される予定であると述べた。このプロジェクト予算は約2兆シリング（約154億米ドル）になると見込まれている。また、同製油所の原油処理能力は1日あたり70万バレルと想定され、アフリカ大陸では2番目に大きな製油所になると見込まれている。

<https://allafrica.com/stories/202608100100.html>

(4)【タンザニア】エア・タンザニア、航空会社小売業務を加速化

タンザニア国営航空会社のエア・タンザニアは、アフリカで最も急成長している航空会社の一つであり、次の成長段階に向けたIT基盤ベンダーとしてセイバー社(Sabre)を選定した。同社提供のシステムを導入し、より迅速な販売対応基盤を構築する。

<https://www.prnewswire.com/news-releases/air-tanzania-selects-sabre-to-power-future-growth-and-accelerate-modern-airline-retailing-302847919.html>

(6)【ルワンダ】米国企業 Planet Labs と提携し衛星データの活用を拡大

ルワンダ政府は、米国に拠点を置く地球観測企業 Planet Labs 社と提携し、政府機関、大学、スタートアップ企業、開発パートナーが携わる衛星データへのアクセスを実現する。この取り組みは、ルワンダ宇宙庁(RSA)が管理し、農業・食糧安全保障、環境モニタリング、都市計画、災害管理などの分野で、政府機関が同社の衛星画像やデータを活用するもの。

<https://www.newtimes.co.rw/article/38078/news/technology/rwanda-partners-with-us-company-planet-labs-to-expand-satellite-data-use>

(7)【ルワンダ】初の円建て融資で国債発行の多様化を図る

ルワンダは、世界銀行グループが支援するユーロ建て及び円建ての商業ソブリンローンを通じて資金を調達。政府が債務と対外資金調達ニーズを管理する中で、資金調達源の多様化を図るもの。この融資枠は8.2千万ユーロと150億円で構成され、償還期間は15年、据え置き期間は6年となっている。円建てでの調達はルワンダにとって初の借入である。

<https://www.intellinews.com/rwanda-diversifies-sovereign-borrowing-with-debut-yen-facility-raising-190mn-463997/>

■西部アフリカ

(8)【ナイジェリア】世界最大級のセメント工場建設に向け、中国との契約を締結

ダンゴテ社は、ナイジェリア・イトリにある同社セメント工場の拡張に向け、中国政府系企業・中材国際(中国中材国際工程、Sinoma International Engineering)と8億米ドルの契約を締結した。生産規模拡張により、同工場の年間生産能力は6百万トンから1.2千万トンへと倍増する。この取り組みは、高まる国内のセメント需要を満たすと共に、海外市場への輸出拡大にも寄与する見込み。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/africas-wealthiest-billionaire-signs-dollar800-million-china-deal-to-build-one-of/gzwv92h>

(9)【ナイジェリア】ナイジェリアのドローンメーカーによる資金調達とガーナ工場建設

ナイジェリアの防衛技術スタートアップであるテラ・インダストリーズ(Terra Industries)は、ガーナにドローン工場を開設し、同時に総額5.2千万米ドルを調達した。資金調達により、同社は、アフリカ大陸内で販売基盤の強化を図る。

<https://africa.businessinsider.com/local/leaders/nigerian-drone-maker-raises-dollar52-million-as-ghana-factory-prepares-to-become/1t4ks5t>

■南部アフリカ

(10)【ボツワナ】UAE 企業とボツワナ保健省が提携

UAE アブダビのヘルスケア企業 M42は、全国的なゲノムプログラムの展開、医療記録のデジタル化、医薬品へのアクセス強化を目的として、ボツワナ政府と10年間の契約を締結した。

<https://www.semafor.com/article/08/26/2026/abu-dhabis-m42-to-roll-out-genomics-program-in-botswana>

(11)【ナミビア他】インドと南部アフリカ関税同盟と貿易協定交渉

インド政府は南部アフリカ関税同盟(SACU)と、自動車、医薬品、産業機械、鉱物資源などの関税引き下げに向けて、貿易交渉を開始する。この交渉は、正式開始から1年以内に妥結する見込みで、南アフリカ、レソト、エスワティニ、ボツワナ、ナミビアの5か国が対象。

<https://economictimes.indiatimes.com/news/economy/foreign-trade/india-sacu-trade-pact-talks-to-begin-by-september-conclude-within-a-year/articleshow/133162166.cms>

■北部アフリカ

(12)【モロッコ】アフリカで2番目に大規模な廃棄物発電所に投資

モロッコは、アフリカで2番目に大規模な廃棄物発電所を建設する。これは15億米ドル規模のプロジェクトであり、数百万トンの家庭ごみを電力に変換すると同時に、同国が抱える埋立地汚染問題に対処することを目的とする。この施設は年間150万トンの廃棄物を処理し、115メガワットの電力を発電することで、約100万人への電力供給が可能になる。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/morocco-to-invest-dollar15-billion-in-africas-second-large-scale-waste-to-energy/k9dxklh>

(13)【アルジェリア】インド石油公社、アルジェリア・ソナトラック社との LPG 輸入契約締結間近

インド石油公社(Indian Oil Corp)は、アルジェリアのソナトラック(Sonatrach)との間で LPG 輸入に関する契約を最終決定した。この合意により、2027年から毎月1隻の超大型ガス運搬船での供給が開始されることになる。インドは中東への依存度を低減するため、LPG の調達先を多様化している。

<https://economictimes.indiatimes.com/industry/energy/oil-gas/indian-oil-close-to-signing-lpg-import-deal-with-algerias-sonatrach-for-2027-sources/articleshow/133374453.cms>

(14)【エジプト】太陽光発電・蓄電複合プロジェクトに「ゴールデンライセンス」を付与

エジプト政府は、ミニア県において600メガワットのバッテリーエネルギー貯蔵システムを併設した1ギガワット級の太陽光発電所を建設するため、ネファー・ミニア・リニューアブル・エナジー社に「ゴールデンライセンス」を付与した。同プロジェクトの投資額は、約7.5億万米ドルと見込まれている。

<https://renewablesnow.com/news/egypt-grants-golden-licence-to-1-gw-solar-plus-storage-project-1299969/>

(15)【エジプト】エジプトの富豪サウリス家が、交通スタートアップへの投資と米国進出を主導

エジプト発の交通テクノロジー企業 Swvl は、約1.4千万米ドルの新規投資を確保し、同社の米国での事業拡大、財務基盤の強化、輸送事業者向けの融資商品の立ち上げに活用する。エジプトの実業家サウリス家が支援する米投資会社 Coefficient が1千万米ドルを出資し、Swvlの最大機関投資家となる見通し。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/egypts-sawiris-family-leads-dollar145-million-bet-on-swvl-as-transport-startup/nw912js>

■その他

(16)【アフリカ金融】マスターカードと TeamApt、アフリカ全域でデジタル決済を拡大へ

マスターカードと、Moniepoint の子会社である TeamApt Limited が、アフリカでのデジタル決済の普及に向けた戦略的提携を締結。TeamApt はマスターカードの決済ネットワークに非銀行系アクワイアラーとして直接接続し、企業や金融機関向けにオンライン上でのシームレスな決済受付、取引処理等のサービスを強化する。

<https://allafrica.com/stories/202608180038.html>